

普及活動情勢報告（令和7年9月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

周年安定出荷に向けて ～JA高知県四万十水耕セリ部会現地検討会～



8月21日、四万十町内の水耕セリのほ場で、JA高知県四万十水耕セリ部会が現地検討会を開催し、部会員4名が参加しました。農業改良普及所は、高温となる夏場の苗床の管理方法について各ほ場の気温データを基に説明しました。参加者からは「管理の仕方によって効果的に気温が下げられることが分かった」、「良さそうな管理を参考にしてみる」など積極的な意見が出ました。農業改良普及所は、今後もJA高知県と協力して水耕セリの周年安定生産を支援します。

これからの集落の営農を考えるために ～金上野地区リーダーとの意見交換会～



9月1日、四万十町役場で、金上野地区リーダー3人と関係機関職員が、基盤整備に向けた担い手法人の立ち上げについて意見交換を行いました。農業改良普及所は、町職員とともに、金上野地区の中山間地域等直接支払等の取り組み組織や集落営農組織の現状について聞き取り、担い手法人を立ち上げる場合に検討しなければならない事項などについて助言及び情報提供を行いました。リーダーからは、金上野内の上地区と下地区とに分かれている組織を1つにしていくために、「まず、ほ場を構えて一緒に作業をやってみないかんね」等の意見が出ました。農業改良普及所は、今後も金上野地区の話し合いを支援します。

有機栽培の拡大を目指して ～ほ場クリニック（現地検討会）～



9月9日、四万十町神ノ川地区の水稲・ショウガほ場で、しまんと畑生産者会主催の現地検討会が開催され、生産者6名が参加しました。農業改良普及所は、四万十町の広報や町内放送を活用して町全体に参加を呼びかけるとともに、栽培について助言しました。4名の新規参加があり、参加者からは、除草のポイントや有機栽培の採算等についての質問や今後の展望についての意見交換がなされました。農業改良普及所は今後も、有機栽培面積の拡大に向けて支援します。

酒米「吟の夢」の適期収穫に向けて ～J A高知県四万十酒米生産部会～



9月10日、J A高知県四万十酒米生産部会（吟の夢）が収穫前現地検討会を開催しました。生産者11名が参加して全員のほ場を巡回し、籾の熟れ具合を確認しながら活発な意見交換を行いました。

農業改良普及所は、適期収穫の重要性や出穂後の積算気温による収穫時期の目安を説明しました。

生産者からは、「適期収穫の重要性を再確認できたものの、今年は9月始めの台風接近に伴う大雨と強風により稲が倒伏した。穂発芽発生に注意しながら慎重に収穫時期を決めていきたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後も管内の高品質酒米安定生産を支援していきます。

他法人の取組や省力化技術を知ろう ～第1回高南地域集落営農法人連絡会～



9月11日、四万十町内2法人のほ場で、高南地域集落営農法人連絡会を開催し、22名が参加しました。

農業改良普及所は、事務局として会の内容検討や案内等を行うとともに、当日は省力化技術実証ほの経過（野芝植栽による草刈回数等の削減、ドローンを活用した水稲湛水直播栽培）を説明しました。

参加者からは、「自分の農地で試しに野芝を植えてみる」、「直播後の水管理のポイントを知りたい」などと活発に意見が出され、省力化技術への関心が高まりました。

農業改良普及所は引き続き、集落営農法人間の交流をはかり、課題解決に寄与できるように、連絡会の開催と情報発信等を行っていきます。